

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)村本建設研究所・研修センター	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市相楽台三丁目1-2,1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、指定無	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	事務所集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年2月6日
敷地面積	5,671 m ²	作成者	鳥
建築面積	2,234 m ²	確認日	2023年09月09日
延床面積	3,305 m ²	確認者	〇〇〇

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7 ★★★★★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性		
LRのスコア = 3.5		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
①多様な機能が生まれるイノベーション研修センター ②従業員の活力を生むウェルネス研修センター ③持続可能な発展に寄与するサステナブル研修センター。①～③の考え方を軸として、建設という仕事への情熱、人を大事にする社風、地球を大事にする姿勢が感じられる、村本建設ならではの研修センターを目指す。		
Q1 室内環境 自動制御ブラインドによりグレアを抑制しつつ自然光を最大限取り入れる。	Q2 サービス性能 ゆとりのある執務スペースと、多目的に利用できる食堂、ワイガヤホールの整備により生産性を向上する。	Q3 室外環境 (敷地内) 京都府景観審議会関西文化芸術研究都市景観部会の意見を取り入れた外観デザインとする。ハイタツリサーチパークのメインストリートに対して開かれたワイガヤホールにより地区に賑わいを生み出す。
LR1 エネルギー 外装の高断熱化により熱負荷を抑え空調エネルギーを低減する。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料、リサイクル材料、ノンフロン断熱材等、人と地球にやさしい材料を採用する。	LR3 敷地外環境 ゆとりのある建物配置とともに、地上緑化を積極的に行うことで建物内外の温熱環境を向上させる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される